

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

事務事業名		部課コード		050100	2998-9211				
事業コード	一人一芸チャレンジ事業	担当部課		文化芸術振興課					
050107		グループ		文化支援					
開始年度		平成 14 年度	終了年度	年度					
事業の概要	事業の種類	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令				
	分野別計画・指針	第4次所沢市生涯学習推進計画・所沢市子ども・子育て支援事業計画				文化芸術振興基本法			
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	章	教育・文化・スポーツ	節	市民文化	基本方針	個性あふれる文化の創造		
事業開始の背景	学校週5日制の実施にともない子どもたちの体験活動の充実が求められた。学校への関連情報提供とともに、市内の文化団体が、さまざまな体験活動の機会を設けること、また学校教育(授業・行事など)への協力など、学校教育と社会教育の連携の気運が高まり、当該事業へと結びついた。また、学社連携の方向を示す社会教育委員会議での答申もあった。								
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)								
	子どもたちが自分の得意なもの、熱中するものを発見する、「一人一芸へのチャレンジ」を支援し、異年齢交流の中で人格形成の支援を図る。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	24,916	人			
	所沢市内在住の児童・生徒			平成 27 年度	24,918	人			
事業の具体的な内容及び実施方法	1 所沢市文化団体連合会の協力により、文化芸術の各分野からの指導者(ボランティアリスト)を作成。リストを学校へ配布。 学校では、伝統芸能クラブや総合的な学習の時間で活用。 2 地域・校区ネットワーク組織(地域実行委員会組織等)等の設立に向け様々な情報を提供。								
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)			
	予算現額			33	33	33			
	決算(見込み含む)			16	0				
	(非常勤特別職員) (臨時任用職員)	(人)	(人)	(人)	(人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。			
	正規職員人件費	0.09 人	785	0.08 人	693				
	事業費合計		801		693				
財源内訳	一般財源	801	693	33					
	国・県支出金	0							
	その他()	0							
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標		
	活動実績	教育ボランティア協力者名簿	芸術・文化分野の指導者登録数	人	133	134	134	140	
		実施件数	一人一芸チャレンジ教室の実施件数	件	4	2	2	2	
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標		
	成果指標	一人一芸チャレンジ教室参加者数	一人一芸チャレンジ教室に参加した児童数(延べ人数)	人	目標値	400	450	200	200
					実績	447	198	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」 拡大図	<input type="checkbox"/> 「実績」 縮小図
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	112	44	どちらかをチェックしてください		
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析					
	児童に筆にふれてもらう時間を増やすため、近隣中学校が所有している筆を借用し、面数を増やした。			学校からの申込が減少したため参加児童数が少なかった。事業を開始した平成14年頃に比べ、学校週5日制に適應した年中行事も定着することで、学校側の需要が減少していることが理由として考えられる。					
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	子どもたちにさまざまな体験活動の機会を設け、文化芸術に触れる機会の拡充をはかり、今後も、学校と連携を深め、趣向を凝らして継続していく。				
		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	講師謝礼についてはボランティアにより無料にて依頼しているため経費がかからないが、消耗品は事業を実施するために必要な予算であり、今後も現状維持していく。				
備	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性					
	地域・校区ネットワーク組織(地域実行委員会組織等)等の設立に向け、文化芸術の各分野からの指導者(ボランティア)リスト・規約の作成や、傷害保険等の各種開催準備に係る情報提供を行っている。			事業を開始した平成14年頃に比べ、学校教育方針の変化等により、需要が減少している。今後は、学校教育における子どもたちの体験活動のあり方について情報収集に努め、ニーズに即した実施形態をとれるように検討していく。					
	評価日	H28.8.16	評価者職氏名	文化芸術振興課長 吉田 謙治					
環境影響	有益な環境影響	家庭・地域の教育力の向上		有害な環境影響を及ぼす原因活動	資料の作成	規制を受ける環境法令等	無		
						緊急事態	無		